



あいご会宣言

- ① 子どもの幸せを願うのは、自然の親心である。
- ② 隣近所仲よく助け合うのは、市民生活の根本である。
- ③ 次代をになう子どもたちを健全に育てるのは、市民の連帯責任である。

あいご会とは

- ① 鹿児島市に住んでいる全市民がすすんで協力し、心身ともに健全な子どもを育てる組織である。
- ② 子ども会の育成母体である。

市民憲章

わたしたち鹿児島市民は、みんな助け合って、子どもたちの幸福を守りましょう。

(昭和36年5月5日)

さつまっ子育成事業

さつまっ子育成事業って何？

この事業は山・川・海などを活用した自然体験活動、鹿児島市立少年自然の家や宮川野外活動センター等の施設を利用した宿泊体験活動、郷土の伝統文化を受け継ぐ活動など、子どもたちが行うさまざまな体験活動に助成金を出して、心身ともにたくましいさつまっ子を育てようとするものです。今年申請のあった活動は下記のような内容です。まだまだ予算枠がありますので、申請してください。

どんな活動をすればいいの？

活動名	場所	校区(単位)
七夕飾りをしよう	家庭・学校	東谷山
宿泊体験	宮川野外センター	宇宿
夏野菜を収穫しよう	そのやま農園	西陵
中学生清掃活動とスポーツレク	石谷小	石谷
城南維新かこ(水夫)カヌー大会	甲突川	城南
城山登山	城山	松原
あるある探検隊「町内散策しよう」	七窪水源地他	伊敷(田入道・長井田)
灯籠祭り	中間公民館	向陽(中間)

これまでハロウィンイベントやしめ縄づくり、天体観測などにも助成しています。「こんな活動でも大丈夫かな」と迷われたら、まずは事務局まで連絡してください。



助成金はどれだけ出るの？

一人あたり 500円 最大30人までです。
1泊2日の場合 一人 1,000円

申請はどうするの？

あいご会さつまっ子育成事業助成金交付申請書(様式1)を提出します。様式はあいご会連合会ホームページからダウンロードできます。校区あいご会だけでなく、単位あいご会でも申請できます。まずは、事務局に電話で問い合わせてください。申請締め切りは12月28日までです。予算内は受け付けますが、予算枠に達したら打ち切りとなります。

TEL 099-226-6604 (090-4349-1976)

ホームページ(右のQRコードから閲覧できます。)
<http://www5.synapse.ne.jp/aigokagosima/>



吉野っ子と32年間

前吉野校区あいご会長 岡村 豊治



「あいご」って何なんだろう、あってはならない事件事故から地域の大人が大きな目で子どもたちを見守ることと信じております。

平成元年、単位の会長職が終わるころ校区有志あいご主事の依頼があり、引き受けて32年間務めました。

当時は南日本新聞社主催のあいごソフトボール大会があり、夏休みが近づくと単位が一同となり大会に挑み楽しい活動ができました。

8・6水害に教訓され、「吉野を飛び出そうサマーツアー」と名付け、宮川野外活動センターで子どもたちだけの炊飯活動とプール遊びを12年間続けられました。

伝統行事を守ることは非常に大切なことだと思っております。吉野に伝わる「大石兵六夢物語」を子どもたちが考案し、自作する紙芝居づくりと発表活動も15年間続いております。継続することの難しさを何度も痛感しましたがそれでもやり続けることが大事でした。

校区のあいご会の皆様に厚くお礼を申し上げます。



あとがき

新型コロナウイルス感染症が流行して三年目を迎えます。今年は感染状況も少しは収まり、あいご会活動もできるのではないかと淡い期待をもっていました。しかし、七月になり、オミクロン株の変異種が県内でも大流行し、過去最大の感染者数が発表されるようになりました。各あいご会活動やブロック事業も予定していた行事を中止したり内容を変更したりしなければならなくなりました。夏休みは子どもたちにとってもさまざまな体験を行う絶好の機会なのですが、その体験を奪われることになり本当にかわいそうに思います。何とか子どもたちに楽しさを味わって欲しいということで、工夫を凝らして活動をすすめているところもあります。それらを「コロナ禍におけるあいご会活動」という特集をくみ、紹介することにしました。今後の参考にしていただければ幸いです。



問い合わせ・ご意見送付先

〒892-0816
鹿児島市山下町5-9
鹿児島市あいご会連合会
TEL・FAX 099-226-6604
E-mail aigo@po3.synapse.ne.jp



(表紙) 夏野菜を収穫しよう (西陵校区)

中郡 中郡小学校にバザーがやって来た!

令和3年度、新型コロナウイルスの影響を受けて、子どもたちの楽しみにしていた学校行事やイベントがことごとく、中止に追い込まれた。一番人気のPTAバザーが中止になったことは、子どもたちにとって大きな衝撃であった。そんな時、立ち上がったのが、あいご会を含む中郡地域盛り上げ隊である。

子どもたちに笑顔届けようと、様々な団体が、役割を分担して行事に挑んだ。時は、暮れも押し迫った12月25日クリスマスであった。

イベント名は、そのものずばり「中郡小学校にバザーがやって来た!」だ。参加者は、なんと保護者を含め約350名にふくれあがった。

あいご会は、射的、ストラックアウト、輪投げなどのレクリエーション、おやじの会は餅つき、地域コミュニティは焼き芋、社会福祉協議会は、サンタの格好でのお菓子のプレゼントという具合だ。

飛び入りで子どもたちの演奏会もあり、新型コロナでよどんでいた心の空気が澄みやかに晴れわたった。地域の力を結集して、子どもたちにも、保護者にも思い出に残る最高のクリスマスプレゼントになった。

さて、コロナ対策として、参加者に検温票の提出、紙製のアームバンドの装着をしてもらった。入退時の消毒、飲食時の黙食の徹底を行い、制限の中でも十分に満足できるイベントであったと思う。

その後のアンケートで、PTAバザーの代替イベントを実施してくれて本当にありがたかったという意見をたくさんいただいた。今後のイベントのあり方の参考になる素晴らしい機会となった。

中郡校区あいご会長 宝来 良治



玉江 単位あいご会の活動

新型コロナウイルス感染症のためなかなか思うような活動ができていませんが、玉江校区の単位あいご会では、清掃活動、クリスマス会、資源回収、敬老会などの行事を行ってふれあいを深めていました。さつま団地あいご会や小園あいご会では子どもたちが地域に住む高齢者の方々へメッセージを書き、届けました。大変喜ばれたようです。



みんなが楽しいあいご会

「コロナ禍におけるあいご会活動」

東谷山 「願い、思い」あふれる七夕の笹飾り

東谷山校区あいご会では、コロナ禍でも安心して取り組むことのできる行事をしたいという思いから、校区全体で協力しながら、7月に七夕の笹飾りを行いました。各单位あいご会では、実態に合わせて各家庭や公園、施設等で実施し、大人も子どももみんなで笹飾りを楽しむことができました。また、各单位あいご会で作成した短冊や笹飾りを持ち寄って、約10メートルにもなる大きな竹に飾り、校区公民館に設置すると、たくさん子どもたちが昼休みに鑑賞していました。「テストで100点がとれますように」「早くコロナがなくなって、たくさん外であそべますように」「ゲームがうまくなりますように」

—————思わずにっこり微笑んでしまうような内容で、見ている子どもたちの目はとてもキラキラしていました。

どんと大きな笹になびく、みんなの願い、思いが込められた短冊たち。どうか、子どもたちが願うような生活が戻りますように。

東谷山小あいご会コーディネーター 井之元 菜瑚



武岡台 冬の思い出づくりクリスマスコンサート

武岡台校区では、12月11日(土)武岡台小学校体育館にて、武岡台小器楽部によるクリスマスコンサートを行いました。夏の思い出づくり(例年はそうめん流し)の代替行事として計画し、コロナ禍の中でも、何か

子どもたちの成果を発揮できる場がないかと考え、実現した行事でした。当日は約80名の参加者が集まりました。観客席はパイプ椅子の間隔を空けるなどの工夫をし、校区あいご会リーダー、あいご会役員で役割を分担し、検温・消毒・会場誘導などを行い、演奏会のお手伝いをしました。

第1章オープニング、第2章アンサンブル、第3章クリスマスソング、第4章フィナーレと、みんなが楽しめる曲構成で、手拍子をしたり踊れたりするような曲もあり、楽しいクリスマスコンサートとなりました。この活動であいご会リーダーも校区での活動ができ、「リーダーでよかった」「楽しかった」という感想も聞くことができました。短時間開催ではありましたが、同じ空間でたくさんの方々とは素敵な時間を共有することができ、子どもたちの心に残る活動が少しでもできたことを嬉しく思いました。

前武岡台校区あいご会長 下原 文美



向陽 コロナ禍でのしめ縄作り

令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症によりあいご会の活動は縮小や中止が多かった。早々の中止決定により話し合いも行われなことを危惧し、実施を前提にどのように工夫するかを話し合うようにした。子ども会の夏祭りは密になることで中止、合同のラジオ体操は小学校の校庭での実施を決定。そして子どもたちに楽しむ機会を何とかしようと、しめ縄作りは12月12日にリモートでの開催にこぎ着け、次のような工夫を行った。

<工夫>

- 密を避けるために参加者数を30組に限定(5・6年生のみ)
- しめ縄作りの動画撮影とYouTubeによる動画配信
- 参加者分のしめ縄材料の準備
- 参加者へ材料及びZoomのアドレス配布
- 当日 Zoomの接続テストとZoomの案内による制作

<反省>

- 30組に限定したため、参加者が少なかった。
- Zoomの利用などリモート開催に難しさを感じた家庭もあったのでは。
- リモート開催に向けたスタッフ・参加者の入念な準備・練習が必要。

向陽校区あいご会長 森田 真一

Zoomを利用した制作



ちょっと難しいです



春山 上山岡に登ろう

春山校区では毎年校区ドッジボール大会を行っていましたが、コロナ禍のため、上山岡の山登りに変更し11月20日に実施しました。



山登りのため、草刈りをしてくださった地域の方々、あいご会役員のみなさんありがとうございます。



上山岡は小学校の校歌にも歌われている春山のシンボルの山です。標高258mと小高く、眼下には春山台地、遠くには桜島、霧島連山、高隈山などの見晴らしが楽しめます。

当日は天候も良く、子どもたちは軽い足取りで頂上までわずか15分ほどで登りました。頂上から自分たちが通う学校、自宅、お店などを指差し、上から見下ろせる景色に感動していたようです。頂上で校歌を歌い、写真撮影をして下山しました。気軽にいつでも登れる上山岡に登れたことがとてもいい経験になりました。コロナ対策として参加者数の制限、2週間前からの検温チェックシートの提出、マスク着用、手指消毒などを実施しました。

春山校区あいご会長 本村 信治